

## 日本産コガネムシ研究史 (8)

高 橋 寿 郎

1938, E. A. Chapin: The nomenclature and taxonomy of the genera of the Scarabaeid Subfamily Glaphyrinae  
Proc. Biol. Soc. Wash., 51: 79-86.

Glaphyrinae 亜科の属の検討をされた論文で日本産のものも含まれている。

1938, 三輪勇四郎; 日本甲虫分類学 (西ヶ原刊行会版)

種の分類はないが、科及び亜科の分類並びに若干の種に就いての図説があり、甲虫分類学としては重要な文献であると共にコガネムシについても一つの有意義な研究論文である。

1938, 松岡勝輝; *Caccobius* 属の甲虫の最新種に就いて。Nippon Kontyu, 1 (1): 8-17.

本論文は松村博士の発表された *Caccobius* 属の新種 (1936) の和文による紹介で一部図が加えられている。これ等の種の現在の取扱は前掲松村博士の論文の項を見て頂きたい。

1938, 米谷正司; キョウトアラハナムグリの雌雄に就いて。昆虫界, VI (47): 94-97.

1938, 関和一; シナノエムマコガネ及び其の近親のエムマコガネ類数種に就いて。昆虫界, VI (49): 233~237.

1938, 米谷正司; リュウキュウハナムグリ属に就いて。昆虫界, VI (52): 533-537, pl. 264.

1938, 関公一; 北海道より新たに記録されるマダラクハガタとその産地。昆虫界, VI (52): 538~142.

1938, 今西芳之; キョウトアラハナムグリの学名に就いて。関西昆虫誌, V (1): 23-30, pl. 3.

*Potosia nitidiscutellata* Nijjima et Kinoshita なる種は *Protaetia hondana* Arrow と同一のものであり、この両者は *Liocola lenzi* Harold の雄であることを飼育により確定された報文である、現在本種は *Protaetia lenzi* なる学名を与えられている。

1938, 平山修次郎; オニヒラタクハガタ。虫の世界, II (11/12): 5~6, pl. 29.

1938, Z. Tesar; Beitrag zum Kenntnis der pall Lamellicorninen.

Ent. Nachr. XII (3/4): 165~171.

*Hoplosternus kinoshitai* なる新種の記載が雲仙産でされているが、現在では *Melolontha satsumaensis* Nijjima et Kinoshita のシノニムとして取扱われている。

1938, E. A. Chapin, Three Japanese beetles of the genus *Serica* Macleay  
Journ. Wash. Acad. Sci., 28(2): 66-68.

本論文は筆者所有していないが、此処には従来の *S. similis* を♂交尾器の形状よりして次の3種に別けることを記述したものである。即ち *Serica similis* Lewis, *S. peregrina*, *S. lewisi*。これ等は後に沢田氏により (1950) 全部 *S. similis* と扱おうのが良いとされた。\*

1938, 沢田玄正; 日本産チャイロコガネ属に就いて。日本の甲虫, II (1): 5-26, pl. II-IV

日本産チャイロコガネ属の分類学的論文であり (朝鮮産1種がふくまれている), 9既知種, 6新種, 計15種について記載されている。

現在の知見では6新種の内3種のみが生き、あとの3種は他種のシノニムとなる。既知種の内にも学名の整理されるものもある。

新種名だけ掲げておく。

P. 12, *Sericania yamauchii*, *S. alternata*, *S. testacea* = *S. fuscolineata fulgida* Nijjima et Kinoshita,  
P. 13 *S. lewisi* Arrow var. *yamamotoi*, P. 16. *S. kamiyai*, *S. quinequefoliata* = *S. mimica* Lewis.  
p. 17, *S. takaoana* = *S. mimica* Lewis.

1938, 沢田玄正, 日本産アシナゴガネ亜科, 日本の甲虫, II (1): 33-48, pl. V, VI.

日本産アシナゴガネ亜科の分類学的論文である。当時の日本、即ち朝鮮、台湾産のものもふくまれるわけであるが、十分な標本がなく本論文の中では種名のみで記載はほとんど省略されている、5種2変種1新変種が記載された。

P. 38, *Hoplia moerens* Waterh. var. *reini* Heyden, 九州産は *H. (Euchromoplia) reini* Heyden として独立種に取扱われる。その他の産地のもの (九州にも分布する) は *H. morens* の f. *nigrofusca* Nomura, f. *flavicanus* Nomura の型にふくまれる、即ちこの変種は *H. reini* と *H. moerens* f. *flavicanus* Nomura に

\* 最近の研究では本種は *Nipponoserica* 属に入り真の *Serica* 属の種とは異なる。

わけられる。

P. 39, *H. moerens* Waterh. var. *hakonensis*, 箱根産は *H. (s. str.) hakonensis* Sawada として独立種として取扱われ、岐阜以東のものは subsp. *ohbayashii* Nomura と区別されている。

1938, 山本弘; ヤマモトダイコクに就て。日本の甲虫, II (1): 55-57.

1937年, チェッコの Z. Tesar により新種記載された *Copris yamamotoi* Tesar の図説, 勿論 *C. pecuarius* Lewis のこと。

1938, H. Sawada, Three New Sericania-species from Japan (Scarabaeidae)

*Nippon no Kochu*, II(2): 69-70.

本論文で *Sericania* の3新種の記載がある、即ち P. 69 *Sericania kirai* (福岡), P. 70, *S. chikuzensis* (筑前~九州), P. 70, *S. matsuyamana* (本州) = *S. hidana* Nii. et Ki.

1938, H. Sawada, Description of a New Genus and Species of the Lamellicorn Coleoptera from Shikoku, Japan.

*Nippon no Kochu*, II(2): 73-74, pl. IX.

四国から新属新種の記載, 即ち *Ohkubous quadridentatus*. 現在 *O. ferrieri* (Nonfried) の form として取扱われている。

1938, 沢田玄正; *Phyllopertha* 属新種の色彩の変化。日本の甲虫, II (2): 76-78.

*Phyllopertha* 属4種の色彩の変化について解説, 尤も学名は現在変っている。

1938, 野村 鎮; *Aphodius troitzkyi* Jacobson に就いて。日本の甲虫, II (2): 79-80.

日本から始めての記録種 *Aphodius (Diapterna) troitzkyi* Jacobson の図説。

1938, 沢田玄正; カブトムシの学名。日本の甲虫, II (2): 80.

1938, 沢田玄正; 日本産ピロウドコガネ類2種。日本の甲虫, II (2): 87-90.

日本産2種というが、当時の日本で1種は台湾産、他の1種 *Serica nigroguttata* Brenske の解説である。本種は Brenske の *nigroguttata* のことではなく、野村氏の *Serica nipponica* (Nomura) のことである。

1938, 沢田玄正; アカピロウドコガネ属の属名及び数種ピロウドコガネの種名。日本の甲虫, II (2): 101.

1938, 江崎悌三・堀 浩・安松京三; 原色日本昆虫図説 (三省堂刊)

1939, 野村 鎮; *Trichius fasciatus* と *T. japonicus* に就て。日本の甲虫, III (1): 17-20.

*Trichius fasciatus* と *T. japonicus* 両種の区別を明

確にした。尤も前者は日本に産しない種である。

1939, S. Nomura; Drei Neue Coprophagiden-arten aus Japan. *Nippon no Kochu*, III (1): 35-37.

広島県尾道産の1新種 *Onthophagus ohbayashii* (pp 35~36) の記載あり。

1939, Balthasar; Neue Arten der palaearktischen und neotropischen coprophagen Scarabaeiden.

*Ent. Listy*, II: 41-47.

P. 42 に *Copris mulleri* Balthasar なる新種が日本 (箕面, 大阪) から記載されている。中根博士によると *C. acutidens* の♀によく一致するとのこと (1955), 後 Balthasar 博士自身 *C. acutidens* と取扱っておられる (1964).

1939, H. Sawada; Some Lamellicorn Beetles of the subfamily Sericinae.

*Nippon no Kochu*, III(1): 48-51.

日本産2新変種の記載及び台湾産1新種の記載, 満州からの記録1種。著者が *Sericania testacea* として新種命名された種 (1938) を *S. fulgida* の新変種として取扱われたのであるが、この種は現在 *S. fuscolineata fulgida* と亜種扱にされている。同じく変種 var. *lineata* も *S. fuscolineata* の亜種となる。満州から記録された *Serica soliovaga* Brenske は *S. rosinae* Pic でアムール, 満州に分布し日本の九州, 屋久島には subsp. *kurosawa* (Nomura) を産する。

1939, 近藤英夫; 東京産 *Melolonthides* 雑考 (I, II)。虫の世界, III (3/4): 33-35.

*Mimela flavilabris* Waterhouse 及び *Anomala multistriata* Motsch. = *A. puncticollis* Harold 2種の記載。

1939, 平山修次郎; 本館所蔵日本産鍬形虫科の解説 (I, II)。虫の世界, III (7/8): 123-127, pl. 12. III (9/10): 141~143, pl. 6.

平山博物館に所蔵されている日本産クワガタムシ類の図説である。勿論当時のことであるから台湾, 朝鮮産もふくまれている。

1939, 沢野芳介・米谷正司; こがねむしの一新変種に就て。昆虫界, VII (62): 205-206.

*Mimela splenden* Gyllenhal の黒色変種 var. *takemurai* Sawano et Kometani の記載。

1939, 加藤正世; 金龜子図説 (3, 4)。昆虫界, VII (67): 540-541, VII (68): 631-632.

*Onthophagu japonicus* Harold, *O. kandai* Mats., f. *uedanus* Mats. = *O. olsoufieffi* Boucomonte の図説。

1939, 三輪勇三郎・中条道夫; 日本産鞘翅目分類目録, Pars. 5, 金龜子虫科 (野田書房刊)。